



平成28年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社IGポート
 コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成28年4月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石川光久
 (氏名) 中野広之

TEL 0422-53-0257

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第3四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第3四半期	5,808	△8.3	245	△6.4	227	△18.7	96	—
27年5月期第3四半期	6,333	19.0	262	△54.7	279	△51.5	△79	—

(注) 包括利益 28年5月期第3四半期 121百万円 (—%) 27年5月期第3四半期 △65百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第3四半期	20.35	—
27年5月期第3四半期	△16.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年5月期第3四半期	7,230	4,443	61.5
27年5月期	7,541	4,331	57.4

(参考) 自己資本 28年5月期第3四半期 4,443百万円 27年5月期 4,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年5月期	—	0.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,842	△21.9	257	△4.0	317	2.7	180	—	38.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年5月期3Q	5,055,400 株	27年5月期	5,055,400 株
② 期末自己株式数	28年5月期3Q	320,400 株	27年5月期	320,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年5月期3Q	4,735,000 株	27年5月期3Q	4,781,419 株

(注)自己株式数には、J-ESOP信託口が所有する当社株式が含まれております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済政策や金融政策を背景に、企業収益や雇用環境が緩やかな回復基調で推移しておりました。一方で、中国や原油価格の急落により産油国の景気減速、リスクオフによる株安や為替の急激な変動等、先行き不透明な状態となっております。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,808,657千円（前年同期比8.3%減）、経常利益は227,045千円（前年同期比18.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は96,371千円（前年同期は79,368千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、テレビ用アニメーション「ハイキュー!! セカンドシーズン」「フューチャーカード バディファイト100」「終わりのセラフ」「蒼穹のファフナー EXODUS」等、その他ゲーム用・CM用のアニメーションを制作いたしました。

以上により、当事業の売上高は3,719,200千円（前年同期比16.3%減）、セグメント損失は103,416千円（前年同期は162,804千円のセグメント損失）となりました。

② 出版事業

出版事業におきましては、新刊は、月刊誌「コミックガーデン」、コミックス「魔法使いの嫁 4巻」「PEACEMAKER鐵 9巻」「ARIA 完全版 ARIA The MASTERPIECE 1巻」等、定期月刊誌9点並びに新刊コミックス71点を刊行しました。

平成27年9月26日より劇場公開されました「ARIA The AVVENIRE」のパンフレット及び関連グッズが特に販売好調でした。また、利益率の高い電子書籍の有料配信による収入は前年同期対比38%増となっており収益に貢献しています。

以上により、当事業の売上高は930,649千円（前年同期比9.8%減）、セグメント利益は160,503千円（前年同比6.0%増）となりました。

③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「進撃の巨人」「サイコパス シリーズ」「蒼穹のファフナー シリーズ」「攻殻機動隊 シリーズ」「宇宙戦艦ヤマト2199 シリーズ」「黒子のバスケ シリーズ」等の二次利用による収益分配を計上しました。

以上により、当事業の売上高は884,910千円（前年同期比41.0%増）、映像マスターの減価償却費が増えたことにより、セグメント利益は215,984千円（前年同期比33.9%減）となりました。

④ その他

その他の事業につきましては、雑誌のイラスト描きやキャラクターの商品販売等により、当事業の売上高は273,896千円（前年同期比18.1%増）となり、セグメント利益は35,192千円（前年同期比135.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ311,583千円減少し7,230,158千円となりました。主な要因は現金及び預金が549,769千円増加し、一方、受取手形及び売掛金が287,553千円、仕掛品が259,815千円、映像マスターが222,352千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ423,577千円減少し2,786,276千円となりました。主な要因は短期借入金が50,000千円増加し、一方、買掛金が334,534千円、未払金が140,363千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ111,993千円増加し4,443,881千円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が86,501千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきまして、平成27年7月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

① 連結範囲の重要な変更

該当事項はありません。

② 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,572,481	3,122,250
受取手形及び売掛金	1,164,316	876,763
商品及び製品	97,710	146,516
仕掛品	1,020,903	761,088
貯蔵品	8,044	8,817
前渡金	62,853	20,947
繰延税金資産	41,738	46,765
その他	124,800	63,763
貸倒引当金	△46,640	△700
流動資産合計	5,046,209	5,046,212
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	679,322	645,737
土地	829,579	826,684
映像マスター(純額)	455,071	232,719
その他(純額)	69,911	56,976
有形固定資産合計	2,033,885	1,762,117
無形固定資産		
のれん	43,270	30,289
その他	9,253	24,209
無形固定資産合計	52,523	54,498
投資その他の資産		
投資有価証券	111,996	111,996
その他	329,616	350,484
貸倒引当金	△32,488	△95,150
投資その他の資産合計	409,124	367,329
固定資産合計	2,495,532	2,183,945
資産合計	7,541,742	7,230,158

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	768,672	434,138
短期借入金	100,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
未払金	350,984	210,621
未払法人税等	60,484	63,161
前受金	950,702	986,305
賞与引当金	16,923	33,098
役員賞与引当金	—	3,113
返品調整引当金	62,363	47,963
受注損失引当金	59,732	21,051
その他	341,295	377,392
流動負債合計	2,751,154	2,366,841
固定負債		
長期借入金	339,192	309,194
株式給付引当金	34,800	32,712
退職給付に係る負債	36,144	37,009
その他	48,562	40,518
固定負債合計	458,698	419,434
負債合計	3,209,853	2,786,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	781,500	781,500
資本剰余金	1,922,669	1,922,669
利益剰余金	2,059,573	2,146,074
自己株式	△420,870	△420,870
株主資本合計	4,342,872	4,429,373
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△10,983	14,508
その他の包括利益累計額合計	△10,983	14,508
非支配株主持分	—	—
純資産合計	4,331,888	4,443,881
負債純資産合計	7,541,742	7,230,158

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
売上高	6,333,133	5,808,657
売上原価	5,435,608	4,871,987
売上総利益	897,525	936,669
返品調整引当金戻入額	8,800	14,400
差引売上総利益	906,325	951,069
販売費及び一般管理費	644,244	705,724
営業利益	262,081	245,344
営業外収益		
受取利息	1,678	673
デリバティブ評価益	4,730	—
投資有価証券償還益	1,160	—
受取賃貸料	35,129	33,365
保険解約返戻金	5,152	—
その他	3,512	8,986
営業外収益合計	51,362	43,025
営業外費用		
支払利息	3,182	2,754
為替差損	3,407	32,171
賃貸収入原価	26,833	23,432
その他	869	2,966
営業外費用合計	34,293	61,324
経常利益	279,150	227,045
特別損失		
減損損失	192,312	—
特別損失合計	192,312	—
税金等調整前四半期純利益	86,837	227,045
法人税、住民税及び事業税	112,838	136,406
法人税等調整額	50,860	△5,732
法人税等合計	163,699	130,674
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△76,861	96,371
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,507	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△79,368	96,371

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△76,861	96,371
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	11,400	25,492
その他の包括利益合計	11,400	25,492
四半期包括利益	△65,461	121,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△67,968	121,863
非支配株主に係る四半期包括利益	2,507	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,441,686	1,031,986	627,595	6,101,269	231,864	6,333,133
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,441,686	1,031,986	627,595	6,101,269	231,864	6,333,133
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△162,804	151,402	326,799	315,397	14,941	330,338

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	315,397
「その他」の区分の利益	14,941
のれんの償却額	△12,981
全社費用(注)	△55,276
四半期連結損益計算書の営業利益	262,081

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

「著作権事業」セグメントにおいて、映像マスターの回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては192,312千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	版權事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,719,200	930,649	884,910	5,534,761	273,896	5,808,657
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,719,200	930,649	884,910	5,534,761	273,896	5,808,657
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△103,416	160,503	215,984	273,071	35,192	308,263

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	273,071
「その他」の区分の利益	35,192
のれんの償却額	△12,981
全社費用(注)	△49,938
四半期連結損益計算書の営業利益	245,344

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。